

第1章 松阪市の現況

1. 市の概要

本市は、県下では津市に次いで広大な面積（62,358ha）を有し、市域人口は平成27年（国勢調査）で163,863人となっている。

平成27年3月末現在において、市街化区域は3,068haで、市域に占める市街化区域面積の割合は約5%、市街化区域人口の割合は約59%とコンパクトに市街地が形成されている。

市街化区域の人口密度は約32人/haで、松阪駅周辺は、歴史的市街地を中心に比較的ゆとりのある市街地となっており、伊勢中川駅周辺では、土地区画整理事業によるコンパクトな新市街地が形成されている。

また、平成27年の国勢調査における人口集中地区（1,492ha、71,932人）の人口密度は約48人/haで、市街化区域に対する面積割合（工業系用途地域を除く）及び人口割合はそれぞれ約74%となっている。

人口

・都市計画区域 153.2千人 市街化区域 97.4千人 市街化調整区域 55.8千人

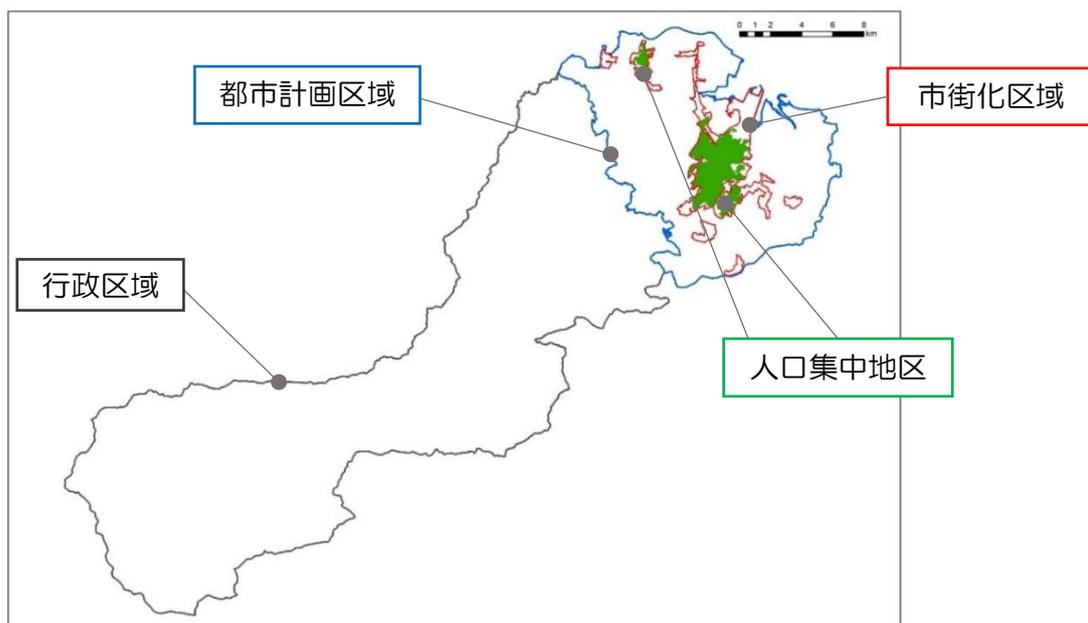
面積

・都市計画区域 17,442ha 市街化区域 3,068ha 市街化調整区域 14,374ha

人口密度

・都市計画区域 8.8人/ha 市街化区域 31.7人/ha 市街化調整区域 3.9人/ha

資料：都市計画現況調査(国土交通省)平成27年3月末



人口集中地区(DID)

市区町村の区域内で人口密度が40人/ha以上の国勢調査単位区が互いに隣接して人口が5,000人以上となる地区

2. 人口

(1) 人口推移

本市の人口は、平成 27 年（国勢調査）で 163,863 人となっており、平成 17 年から平成 22 年にかけて減少に転じており、平成 22 年から平成 27 年にかけては減少割合が拡大している。

人口の約 74%を松阪管内が占めており、嬉野管内、三雲管内をあわせた市の東部に人口の 90%以上が集中する状況となっている。

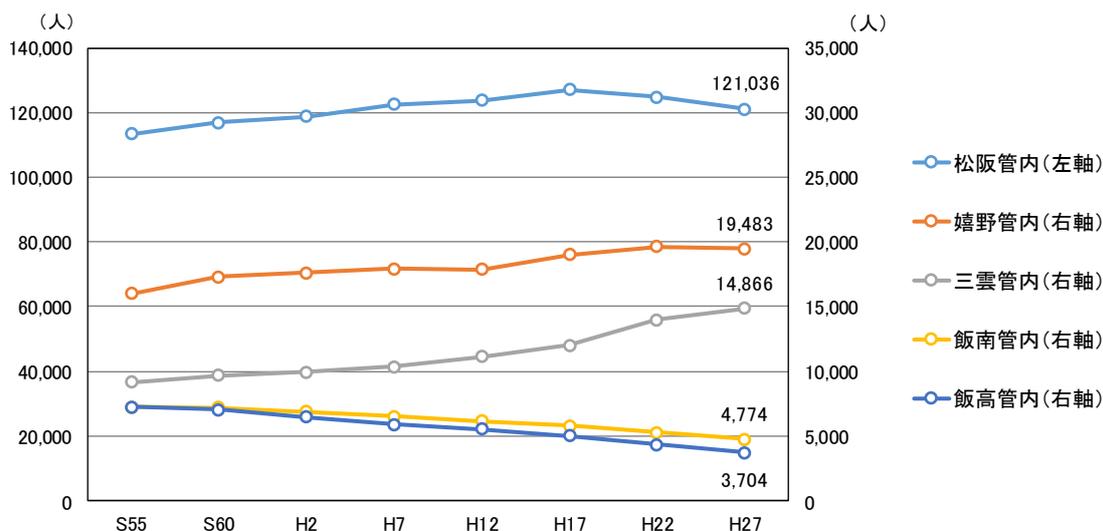
地域別では、三雲管内において増加がみられる一方、これまで増加傾向にあった松阪、嬉野管内で減少がみられ始めている。また、山間部の飯南管内、飯高管内においては、減少が続いている。

世帯数は、市全体では増加しているものの、増加割合は減少傾向にある。また、世帯人員（世帯規模）は、市全体で減少傾向にある。

地域別人口の推移(単位:人)

人口	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	
松阪管内	113,481	116,886	118,725	122,449	123,727	127,142	124,754	121,036	73.9
嬉野管内	15,994	17,329	17,611	17,903	17,884	19,021	19,637	19,483	11.9
三雲管内	9,181	9,680	9,941	10,336	11,158	12,008	13,983	14,866	9.1
飯南管内	7,257	7,194	6,891	6,528	6,180	5,800	5,299	4,774	2.9
飯高管内	7,272	7,066	6,457	5,915	5,555	5,002	4,344	3,704	2.3
松阪市計	153,185	158,155	159,625	163,131	164,504	168,973	168,017	163,863	100.0
前年度比	—	3.1%	0.9%	2.1%	0.8%	2.6%	-0.6%	-2.5%	—

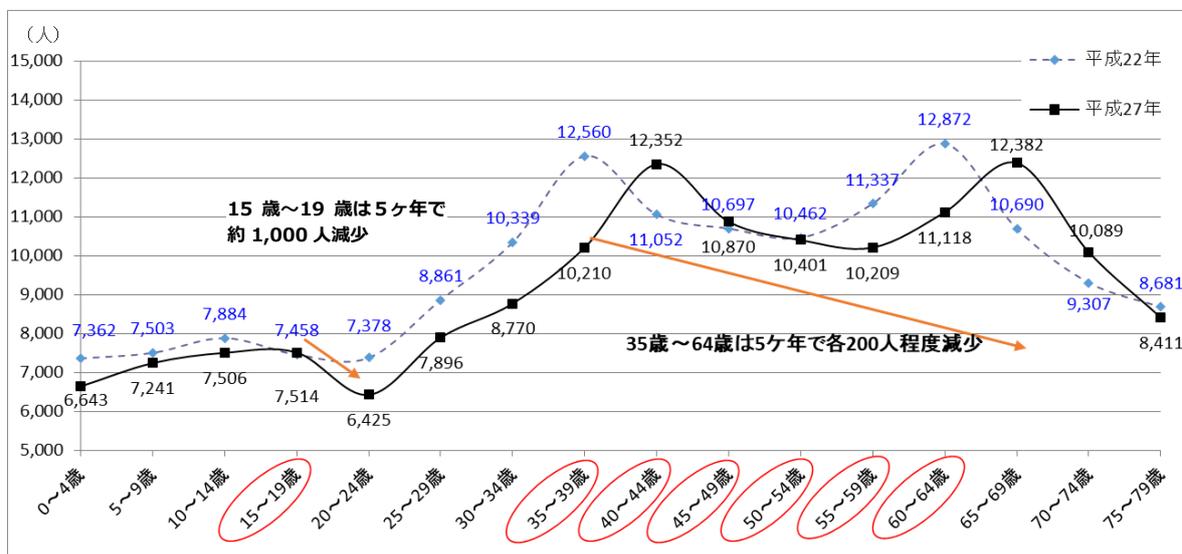
資料: 国勢調査



資料: 国勢調査

地域別人口の推移

平成 22 年から平成 27 年の 5 歳階級別人口移動をみると、15 から 19 歳がその後の 5 ヶ年で転出により大幅に減少しており、35 歳以上の子育て世代も減少している。

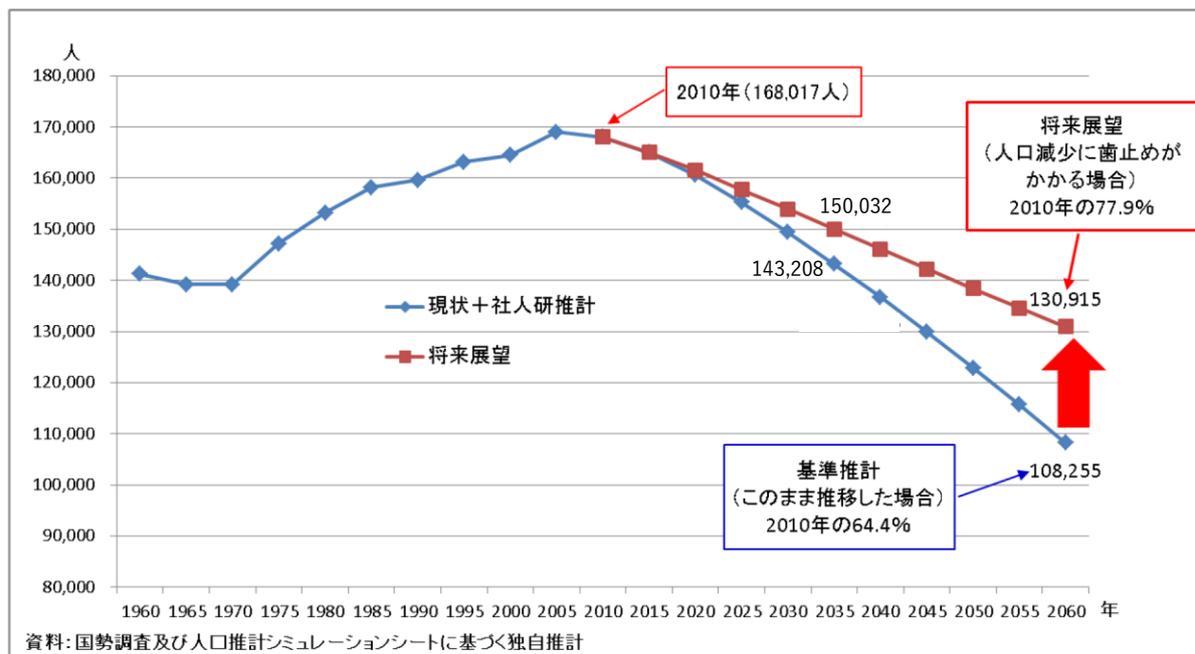


資料：国勢調査

5年間(平成22年～27年)の人口移動

(2) 将来人口推計

目標年次である2035(平成47)年の人口は、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)で143,208人、松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の人口ビジョンで150,032人と予測されている。



		年	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
現状+ 社人研推計	総人口(人)		168,017	164,987	160,576	155,235	149,425	143,208	136,668	129,870	122,865	115,634	108,255
	老年人口(人)		42,252	46,372	48,260	48,665	48,906	49,147	50,532	49,756	47,705	44,806	41,495
	(比率(%))		25.1	28.1	30.1	31.3	32.7	34.3	37.0	38.3	38.8	38.7	38.3
将来展望	総人口(人)		—	165,054	161,526	157,778	153,953	150,032	146,138	142,248	138,409	134,610	130,915
	老年人口(人)		—	46,118	47,846	48,238	48,575	48,827	50,231	49,411	47,556	44,121	40,660
	(比率(%))		—	27.9	29.6	30.6	31.6	32.5	34.4	34.7	34.4	32.8	31.1

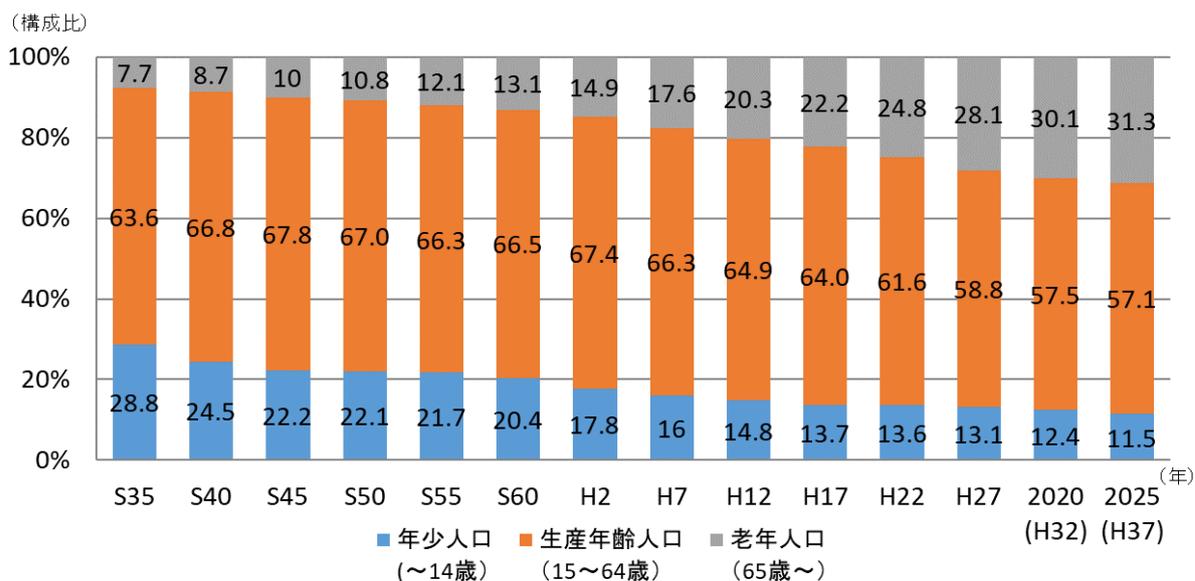
資料: 松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略【人口ビジョン】

将来の人口展望(基準年:平成22年)

(3) 年齢3区分別人口の推移

年齢3区分別人口の構成比をみると、昭和35年から2025（平成37）年では、老年人口が7.7%から31.3%に増加する一方で、生産年齢人口が63.6%から57.1%、年少人口が28.8%から11.5%と減少すると予測されている。

地域別の高齢化率をみると、都市計画区域内では、殿町圏域、東部圏域で高齢化率が30%を超えている。



資料：国勢調査、人口推計シミュレーションより作成
 ※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある
年齢3区分別人口の推移(構成比)

地域別高齢化率

単位：人

区分	人口①	高齢者人口②	高齢化率 ②／①(%)	要介護 認定者数③	認定者の割合 ③／②(%)
久保圏域	28,417	6,369	22.41	1,522	23.90
殿町圏域	17,754	5,380	30.30	1,200	22.30
鎌田圏域	16,416	3,664	22.32	807	22.03
中部圏域	27,434	7,084	25.82	1,463	20.65
西圏域	13,317	3,547	26.64	789	22.24
東部圏域	13,366	4,249	31.79	884	20.80
三雲圏域	16,652	3,511	21.08	705	20.08
多気圏域	3,946	1,122	28.43	307	27.36
大江圏域	2,129	763	35.84	203	26.61
嬉野圏域	20,092	5,571	27.73	1,091	19.58
飯高東圏域	2,126	851	40.03	221	25.97
飯高西圏域	2,074	1,113	53.66	254	22.82
飯南圏域	5,141	1,893	36.82	412	21.76
合計	168,864	45,117	26.72	9,858	21.85

注：区分の圏域は中学校区単位

資料：第7次高齢者福祉計画(住民基本台帳+外国人登録(平成26年9月末))

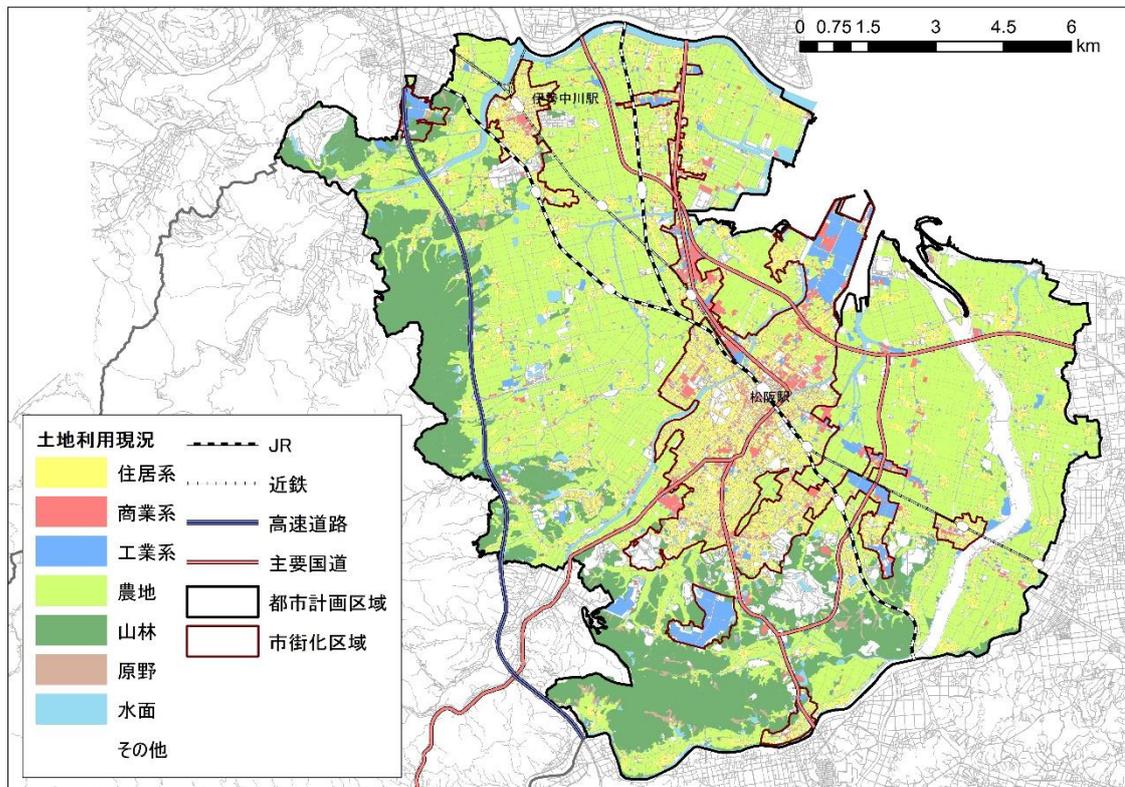
3. 土地利用

(1) 土地利用現況

都市計画区域内の土地利用の現況をみると、農地が42.9%と最も多く、次いで山林が16.1%となっている。住居系は約10%となっており、松阪管内及び伊勢中川駅周辺にまとまった住宅地が形成されている。また、商業系は2.8%となっており、松阪駅周辺や国道沿道に立地していることがうかがえる。

単位: ha

	松阪	嬉野	三雲	合計	
住居系	1,325.5	258.5	192.9	1,776.9	10.6%
商業系	373.0	25.0	75.9	473.8	2.8%
工業系	452.9	52.9	43.3	549.1	3.3%
農地	5,006.7	1,179.1	1,023.7	7,209.5	42.9%
道路	1,083.2	230.4	182.5	1,496.2	8.9%
港湾施設等用地	14.2	0.0	0.0	14.2	0.1%
鉄道	31.0	20.2	16.3	67.5	0.4%
山林	2,186.6	524.1	2.9	2,713.6	16.1%
公益施設用地	174.7	26.3	17.1	218.1	1.3%
レクリエーション施設用地	123.1	106.8	2.3	232.1	1.4%
公共施設用地	60.3	9.7	19.4	89.4	0.5%
原野	78.6	7.2	2.5	88.2	0.5%
水面	396.8	133.0	166.9	696.8	4.1%
公園緑地	116.4	8.5	7.8	132.7	0.8%
教育施設用地	90.6	61.8	11.3	163.7	1.0%
その他	706.5	75.0	101.9	883.4	5.3%



資料: 都市計画基礎調査(平成24年)

土地利用現況図(都市計画区域内)

(2) 開発動向（新築）

都市計画区域内における建築確認申請の推移をみると、各管内とも、増減を繰り返しており、平成 25 年度は 900 件以上が申請されている。

三雲管内については、平成 24 年 5 月 31 日より区域区分（線引き）を行っており、それ以降の申請をみると、市街化区域よりも市街化調整区域での申請が多くなっている。

都市計画区域内の建築確認申請の推移

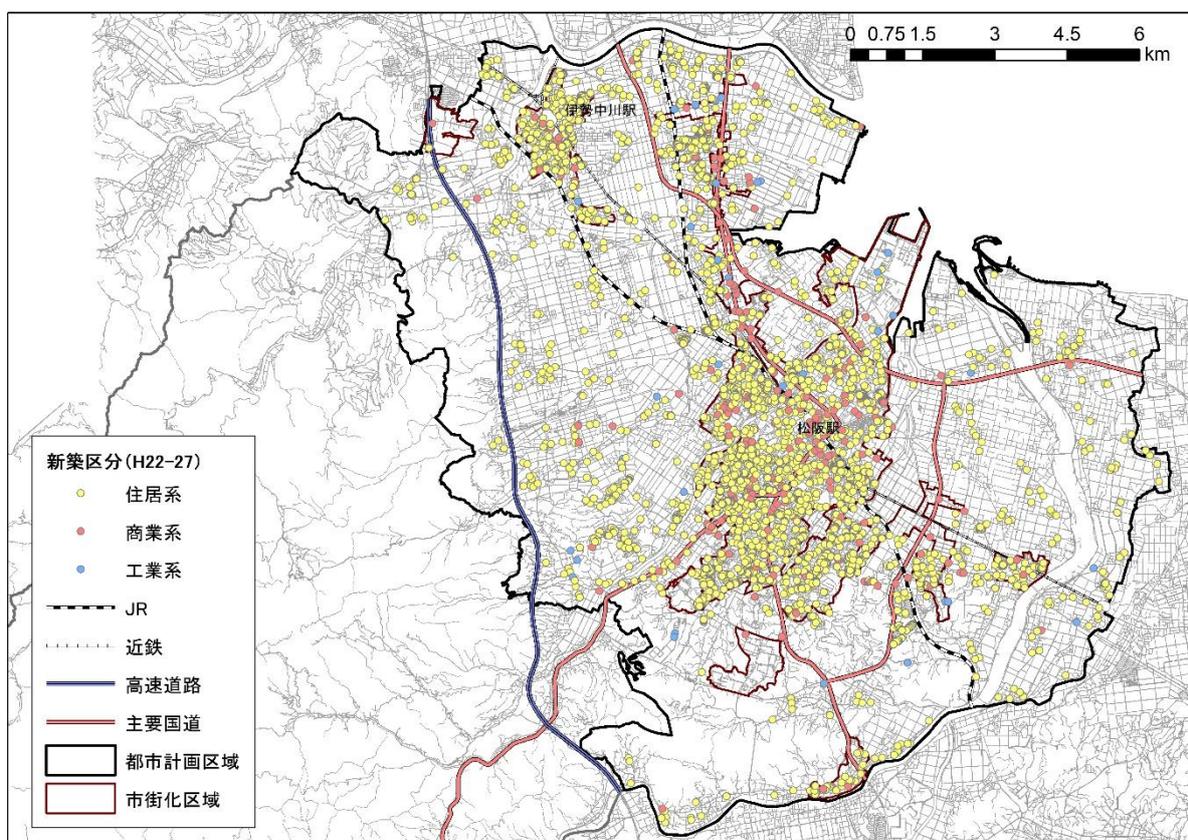
単位：件

	総数			市街化区域			市街化調整区域		
	松阪	嬉野	三雲	松阪	嬉野	三雲	松阪	嬉野	三雲
平成 20 年度	670	133	158	491	92	—	172	38	—
平成 21 年度	568	90	191	416	57	—	147	32	—
平成 22 年度	591	114	156	415	74	—	174	40	—
平成 23 年度	590	84	157	437	56	—	151	27	—
平成 24 年度	561	75	125	419	49	7	139	26	87
平成 25 年度	637	149	161	479	109	20	153	40	141
平成 26 年度	537	91	96	421	62	4	112	28	92
平成 27 年度	510	103	81	408	69	7	101	32	74
平成 28 年度	565	78	90	452	50	12	109	27	78
平成 29 年度	556	104	95	446	82	14	109	21	81

※区域外と工事とりやめを含む総数

資料：建築開発課

※旧三雲町の区域は H24.5.31 より線引き



資料：都市計画基礎調査(平成 28 年)

新築の分布図

(3) 農地転用

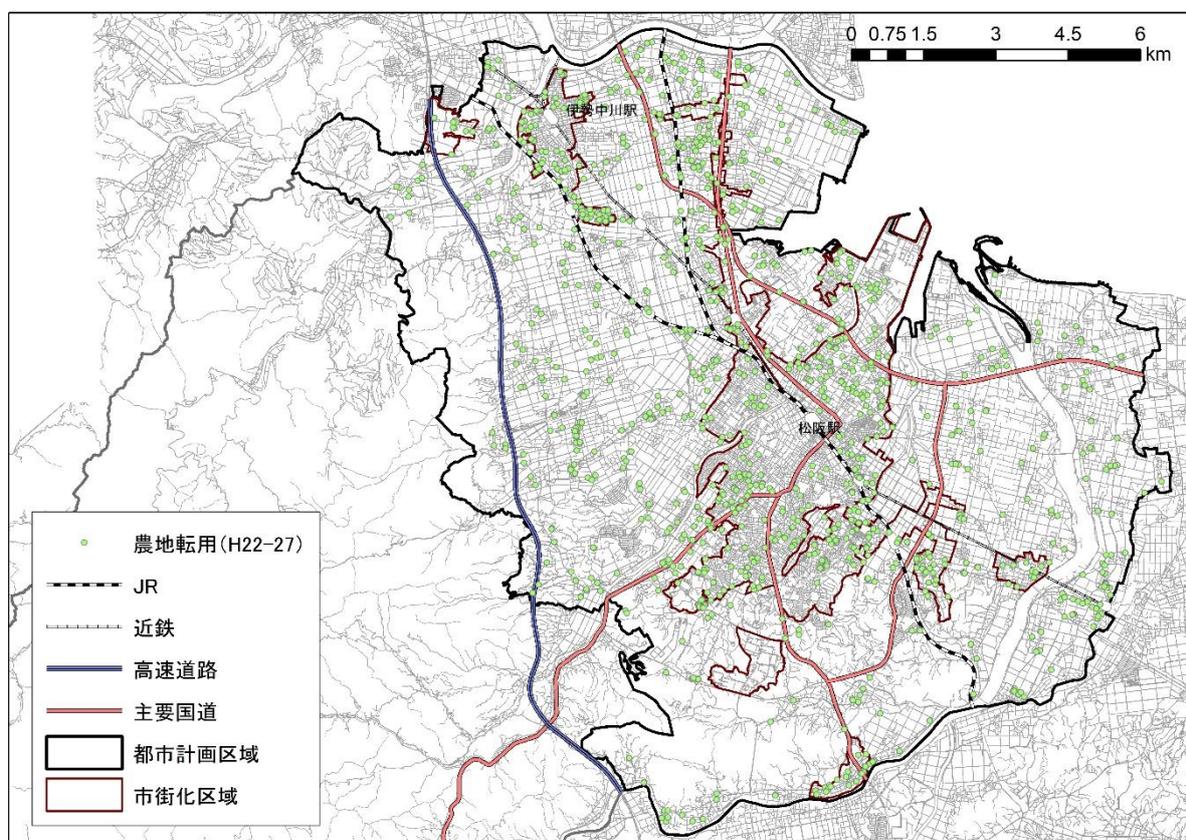
農地転用の状況をみると、年度により増減はあるものの、ほぼ横ばいで推移している。市街化調整区域の農地転用件数が多く、幹線道路の沿道等での農地転用が多くみられる。

農地転用の状況

単位：件、ha

	松阪管内				嬉野管内				三雲管内	
	市街化区域		市街化調整区域		市街化区域		市街化調整区域		用途地域外	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
H17	155	8.39	216	13.46	32	1.41	38	2.75	64	5.51
H18	140	6.65	233	16.01	28	1.21	40	2.15	100	7.13
H19	136	5.90	203	13.99	21	0.72	80	2.41	83	7.16
H20	205	8.25	209	13.14	34	0.72	24	1.40	120	10.62
H21	122	4.77	291	18.18	14	0.49	25	0.90	70	5.90
H22	53	2.01	62	3.71	115	5.72	14	0.38	14	0.79
H23	42	1.52	75	2.83	117	4.35	19	0.49	11	0.48
H24	61	2.04	52	2.37	113	4.41	20	0.77	16	0.62
H25	87	2.78	77	3.22	164	6.00	16	0.54	13	0.27
H26	60	2.27	78	3.74	138	6.01	15	0.69	14	0.61
H27	103	16.26	90	5.26	193	10.90	23	1.02	17	0.58
合計	1,164	60.83	1,586	95.90	2,750	146.12	236	8.44	292	12.97

資料：都市計画基礎調査(平成 28 年)



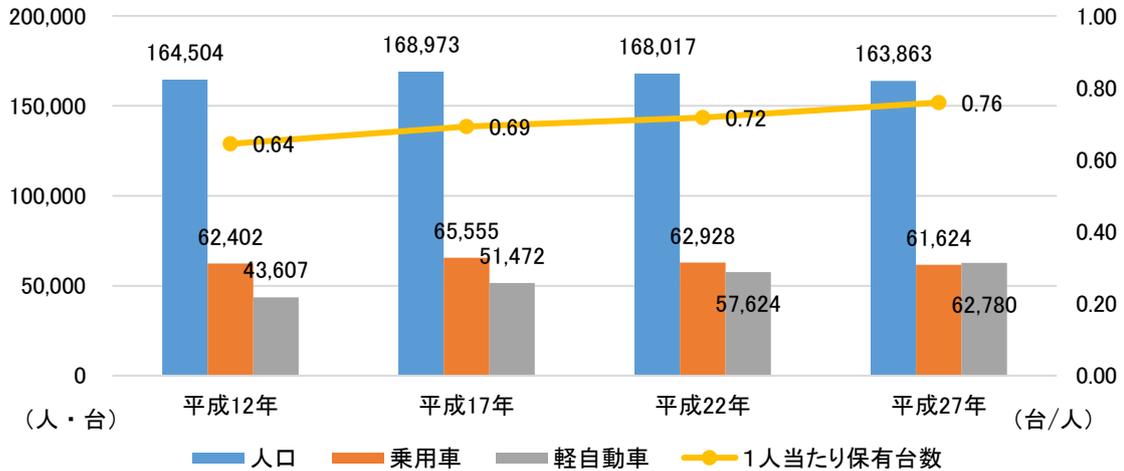
資料：都市計画基礎調査(平成 28 年)

農地転用の状況

4. 交通

(1) 自動車の保有台数

乗用車の保有台数は横ばい、軽自動車の保有台数は増加しており、市民一人あたりの自動車保有台数は増加傾向にある。



自動車保有台数の推移

資料：国勢調査、三重県統計書

(2) 鉄道駅別旅客乗車人員

旅客乗車人員の推移をみると、平成24年度から概ね横ばいで推移している。

鉄道駅別旅客乗車人員の推移

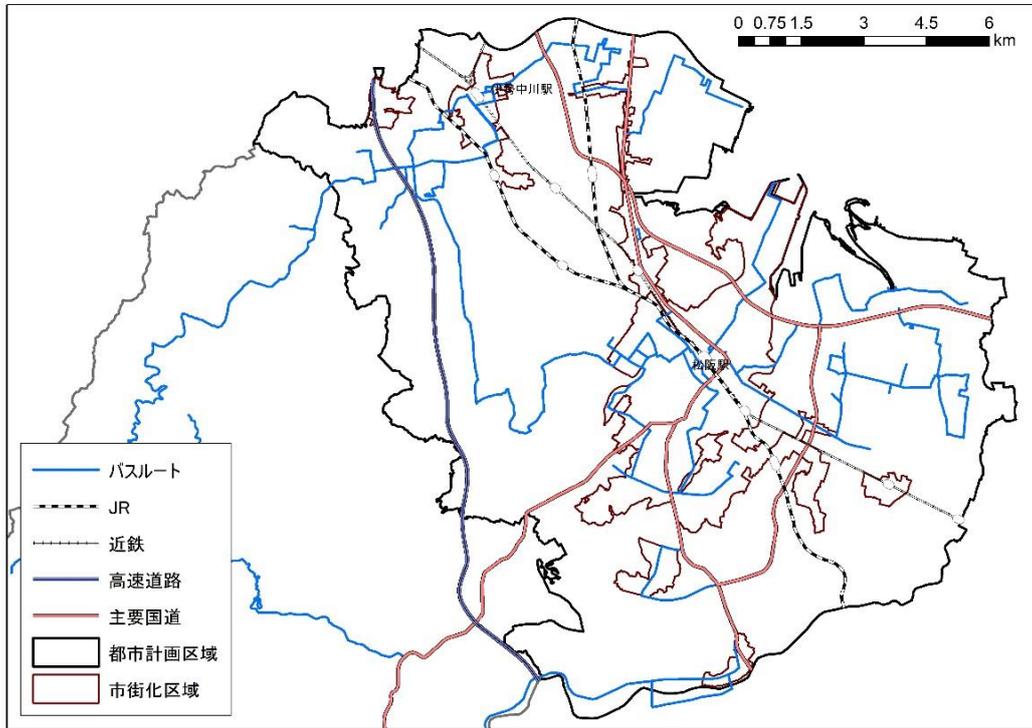
単位：人／年

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
JR	六軒	30,772	33,873	37,434	41,763	36,057	34,319
	松阪	614,420	605,287	591,099	602,988	570,402	570,640
	徳和	147,246	150,989	151,740	157,841	148,014	152,913
	上ノ庄	3,833	3,107	4,311	4,290	3,863	3,658
	権現前	17,461	15,205	12,927	12,801	11,172	11,159
近鉄	漕代	47,511	47,993	50,037	53,767	58,623	70,419
	櫛田	230,384	229,114	227,431	232,641	235,109	246,880
	東松阪	377,458	370,424	374,947	379,407	355,944	373,048
	松阪	2,711,639	2,698,393	2,747,303	2,875,045	2,784,438	2,795,441
	松阪(JR 経由)	1,840	2,048	1,233	1,198	3,029	1,477
	松ヶ崎	194,225	194,374	198,609	196,445	187,576	189,451
	伊勢中原	66,882	61,897	66,233	73,534	81,442	95,518
	伊勢中川	1,348,949	1,352,496	1,353,269	1,407,101	1,394,815	1,449,161
合計	5,792,620	5,765,200	5,816,573	6,038,821	5,870,484	5,994,084	

資料：三重県統計書

(3) バス路線

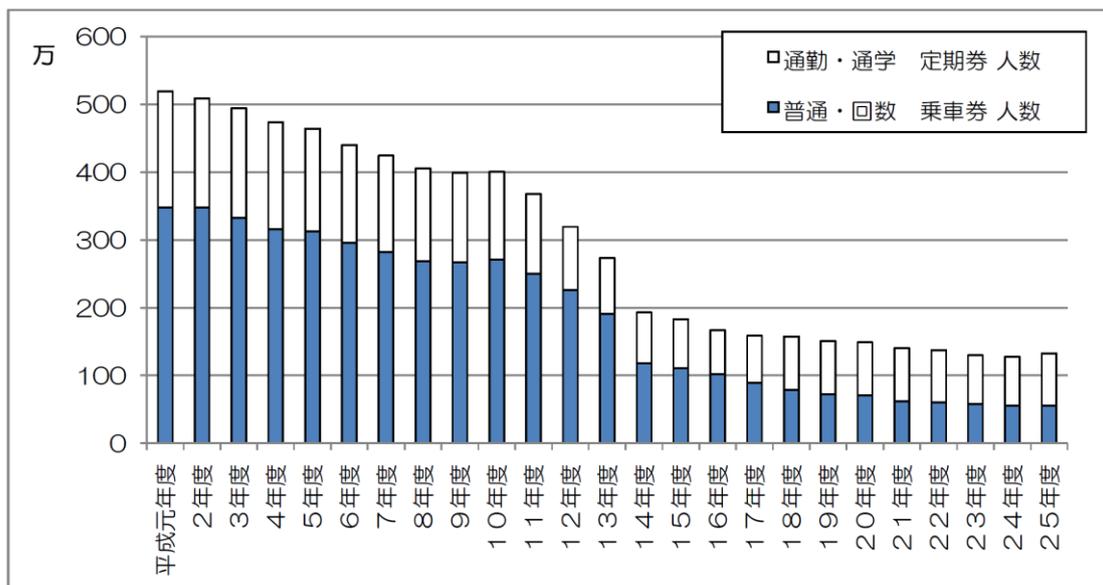
市内の主要な交通手段である路線バス（三重交通）は、松阪駅を中心に放射状に広がっている。



バスルート図(都市計画区域内)

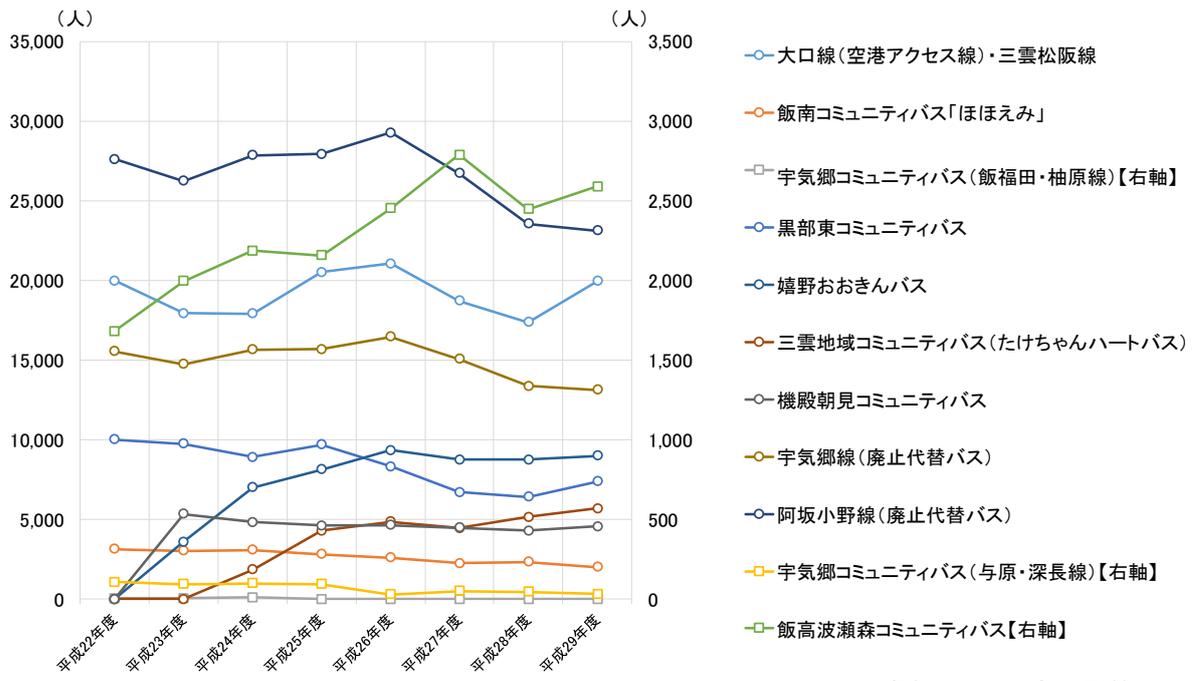
(4) バスの利用状況

路線バス（三重交通）の利用状況は、近年微減の傾向にある。コミュニティバスの利用状況は、増加と減少を繰り返しながら横ばい傾向にある。



資料: 松阪市地域公共交通網形成計画

三重交通松阪営業所利用者数の推移



コミュニティバス輸送状況の推移(市街地循環線を除く)

コミュニティバスの利用状況

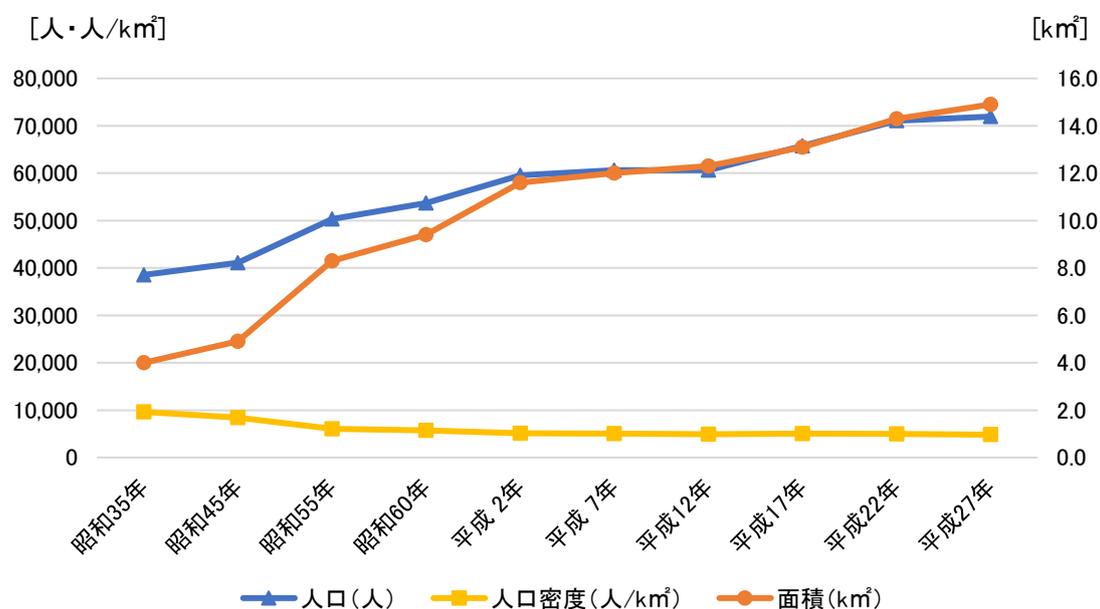
単位: 人/年

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
市街地循環線(鈴の音バス)	86,792	89,837	92,892	88,983
大口線(空港アクセス線)・三雲松阪線	21,054	18,738	17,391	19,967
飯南コミュニティバス「ほほえみ」	2,613	2,259	2,345	2,023
宇気郷コミュニティバス(飯福田・柚原線)	0	0	0	0
宇気郷コミュニティバス(与原・深長線)	30	52	46	34
黒部東コミュニティバス	8,347	6,714	6,419	7,392
飯高波瀬森コミュニティバス	2,453	2,788	2,449	2,590
嬉野おおきんバス	9,358	8,771	8,755	9,015
三雲地域コミュニティバス(たけちゃんハートバス)	4,862	4,463	5,174	5,693
機殿朝見コミュニティバス	4,660	4,496	4,315	4,564
宇気郷線(廃止代替バス)	16,470	15,088	13,375	13,132
阿坂小野線(廃止代替バス)	29,293	26,726	23,571	23,129

資料: 松阪市商工政策課

5. 市街地（人口集中地区の変遷）

平成 27 年における人口集中地区（DID）は人口が 71,932 人、面積は 1,492ha、人口密度は 48.21 人/ha で、人口、面積は増加傾向、人口密度は減少傾向にある。



年次	人口(人)	面積(k m ²)	人口密度 (人/k m ²)
昭和 35 年	38,529	4.0	9,632.3
昭和 45 年	41,087	4.9	8,385.1
昭和 55 年	50,351	8.3	6,066.4
昭和 60 年	53,669	9.4	5,709.5
平成 2 年	59,535	11.6	5,132.3
平成 7 年	60,626	12.0	5,064.8
平成 12 年	60,652	12.3	4,931.1
平成 17 年	65,750	13.1	5,034.5
平成 22 年	71,091	14.3	4,974.8
平成 27 年	71,932	14.9	4,821.2

資料: 国勢調査

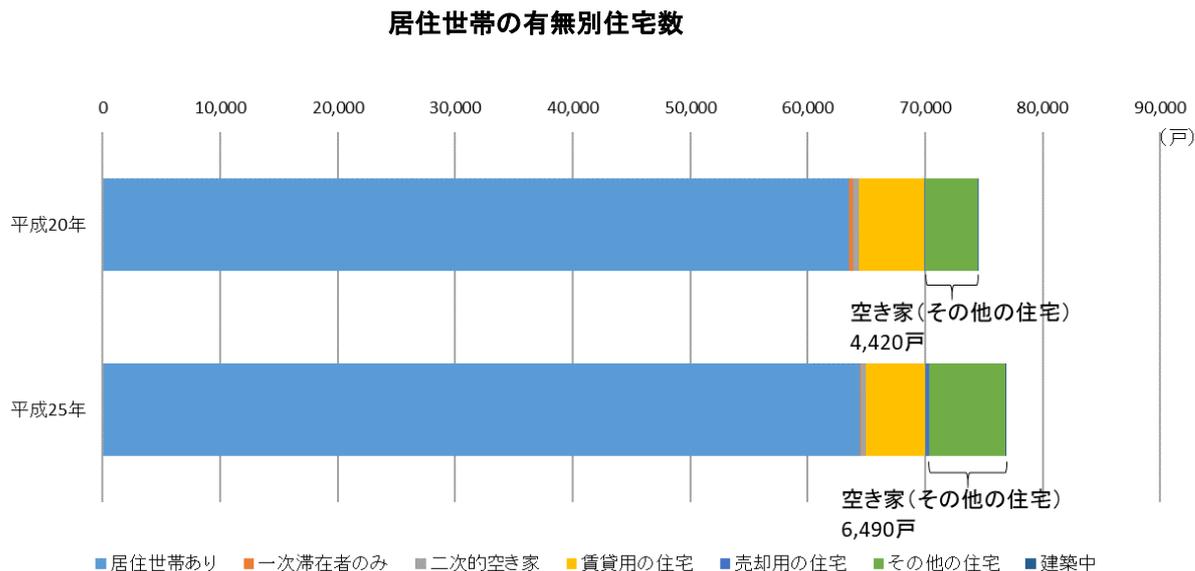
人口集中地区(DID)

市区町村の区域内で人口密度が 40 人/ha 以上の国勢調査単位区が互いに隣接して人口が 5,000 人以上となる地区

6. 空き家

住宅・土地統計調査によると、平成 25 年の松阪市内の住宅数は 76,920 戸となっている。そのうち、居住世帯のある住宅が 64,430 戸となっており、耐震性のない住宅が約 2 割（12,470 戸）と推計されている。

空き家（その他の住宅）は、平成 25 年 6,490 戸で、平成 20 年 4,420 戸から 2,070 戸の増加となっている。



資料：住宅・土地統計調査

空家等実態調査(※1)による空家等軒数

(単位：軒数)

調査結果	軒数	建物の状態(※2) (現地調査票「居住の可能性」)	
		状態	軒数
空家等数	3,109	A	1,154
		B	1,123
		C	758
		不明(未記載)	74

※1：松阪市が空家等対策計画の策定のため、平成 29 年度に市内全域を対象にした外観調査及び平成 30 年度に実施した所有者アンケート調査による空家等実態調査で把握した軒数

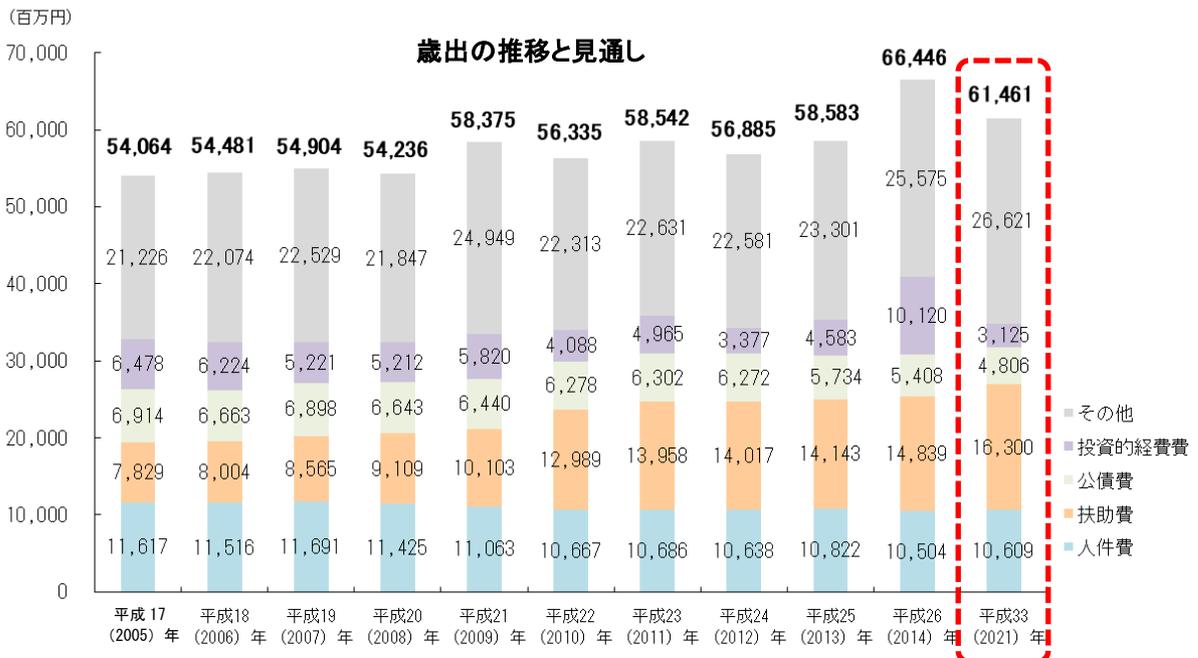
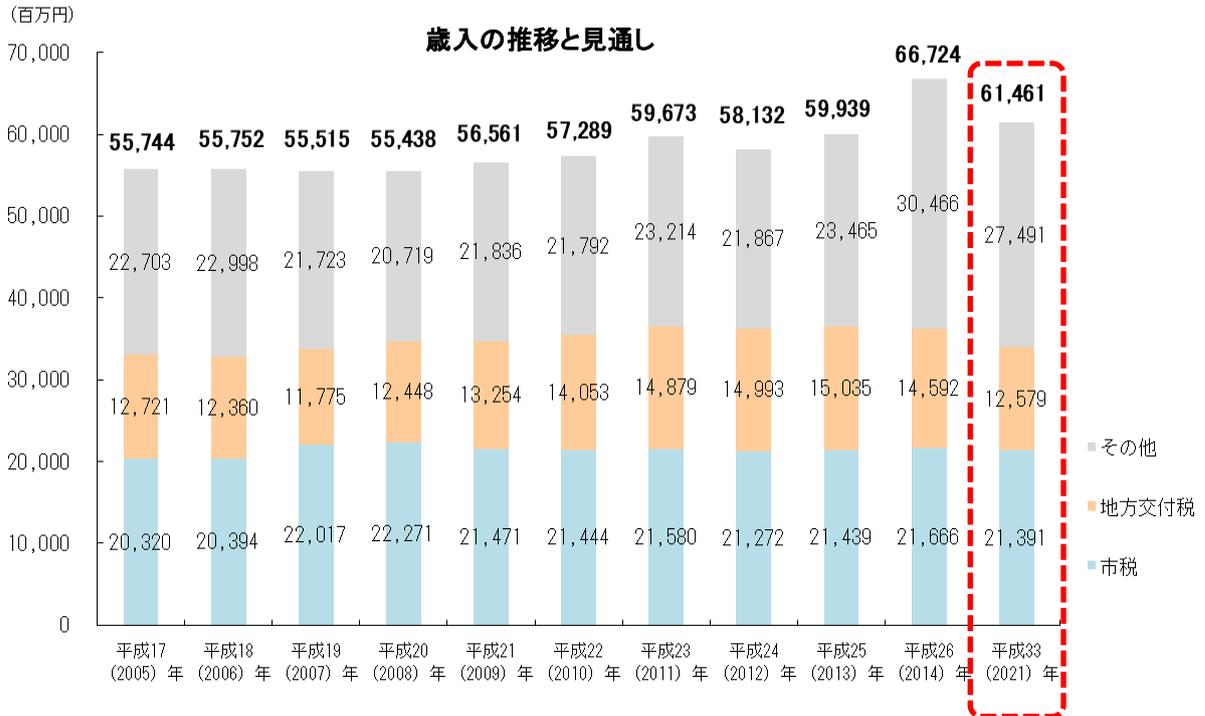
※2：建物の状態

- A: すぐに住めそうな空家(適切な管理がされており、居住可能な状態)
- B: 少し手を加えればすぐに住めそうな空家(居住するには簡単な修繕等が必要)
- C: 住めない空家(居住するには建て替え又は相当な修繕等が必要)
- 不明(未記載): 上記A～Cの判定(チェック)が未記載

7. 財政

歳入は地方交付税の減少等により、大きな伸びは期待できない見通しである。

歳出は高齢化の進行により、扶助費（福祉関係）の大幅な増加が見込まれ、公共施設の更新費などに必要な投資的経費の財源不足が予想される。



注:平成33(2021)年度は松阪市公共施設等総合管理計画

資料:松阪市財務課(松阪市統計書)

8. 住民ニーズ

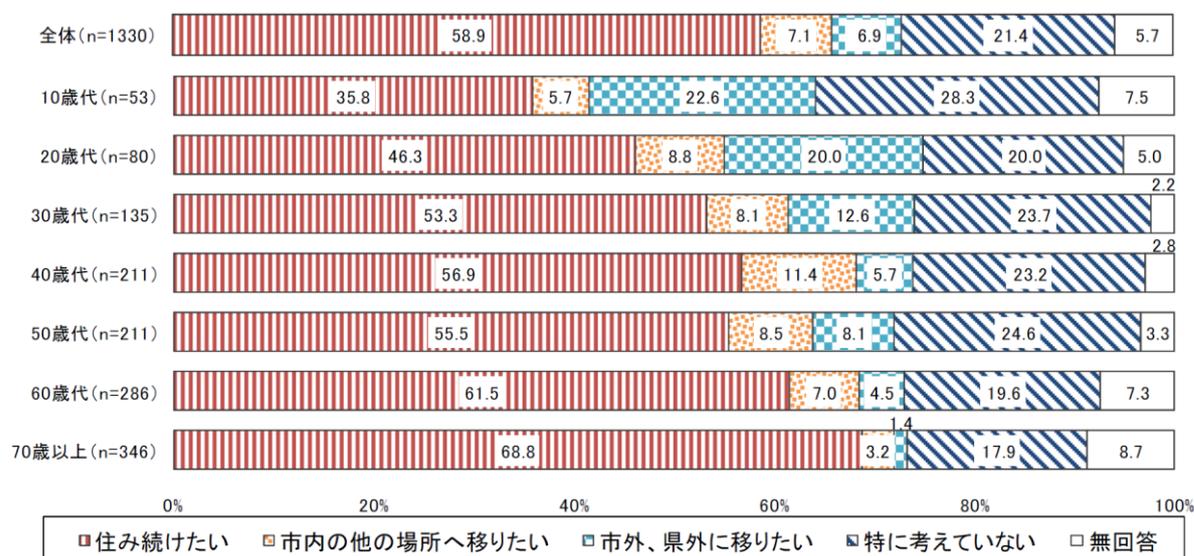
(1) 市民意識調査

住民ニーズについては、平成 29 年 7 月に実施した市民意識調査（3000 人アンケート調査）結果及び平成 29 年 12 月に開催したシンポジウムのグループディスカッションから把握する。

① 定住意向

問：現在お住まいの地域、住居に住み続けたいと思うか。

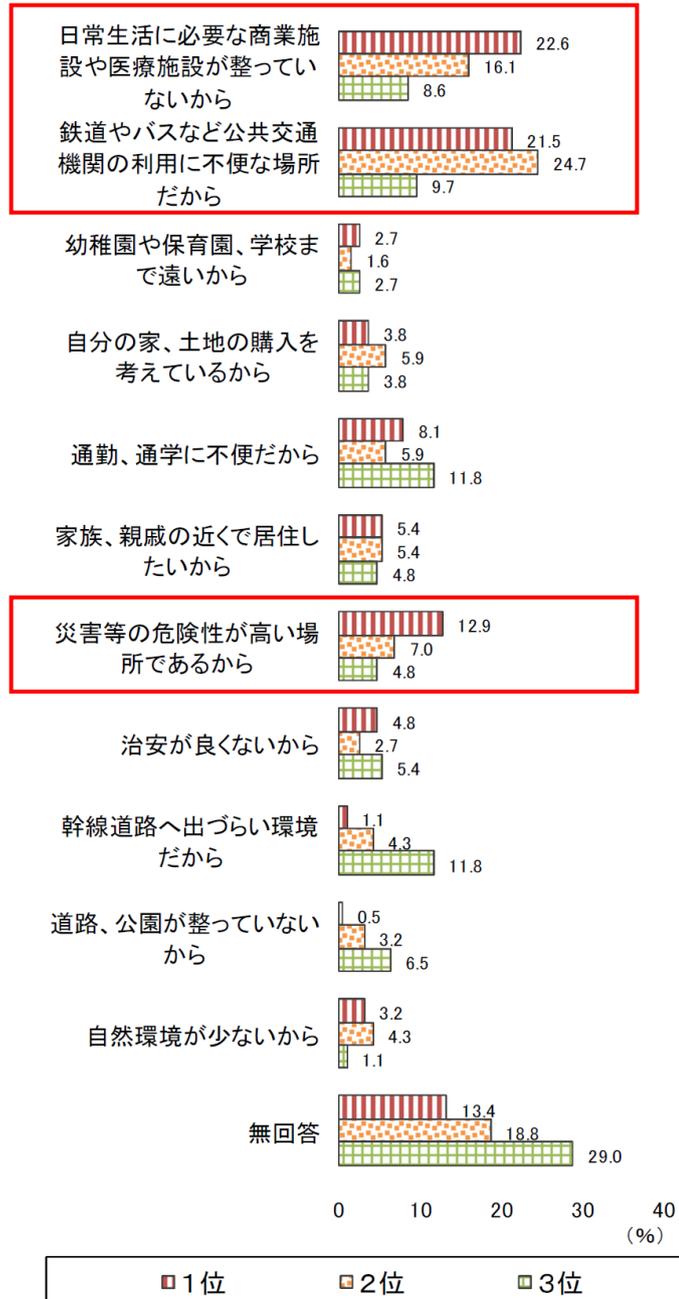
全体として、「住み続けたい」は 58.9%で、年代が若くなるほど、その意向は低くなっており、50 歳代以下は6割を下回っている。



② 住み続けたくない理由

問：現在お住まいの地域、住居から他の場所に移りたいと考える理由について（優先順位の高い順に3つ選択）

「住み続けたくない理由」の1位は「日常生活に必要な商業施設や医療施設が整っていないから」が22.6%と最も高く、次いで「鉄道やバスなど公共交通機関の利用に不便な場所だから」が21.5%、「災害等の危険性が高い場所であるから」が12.9%となっている。

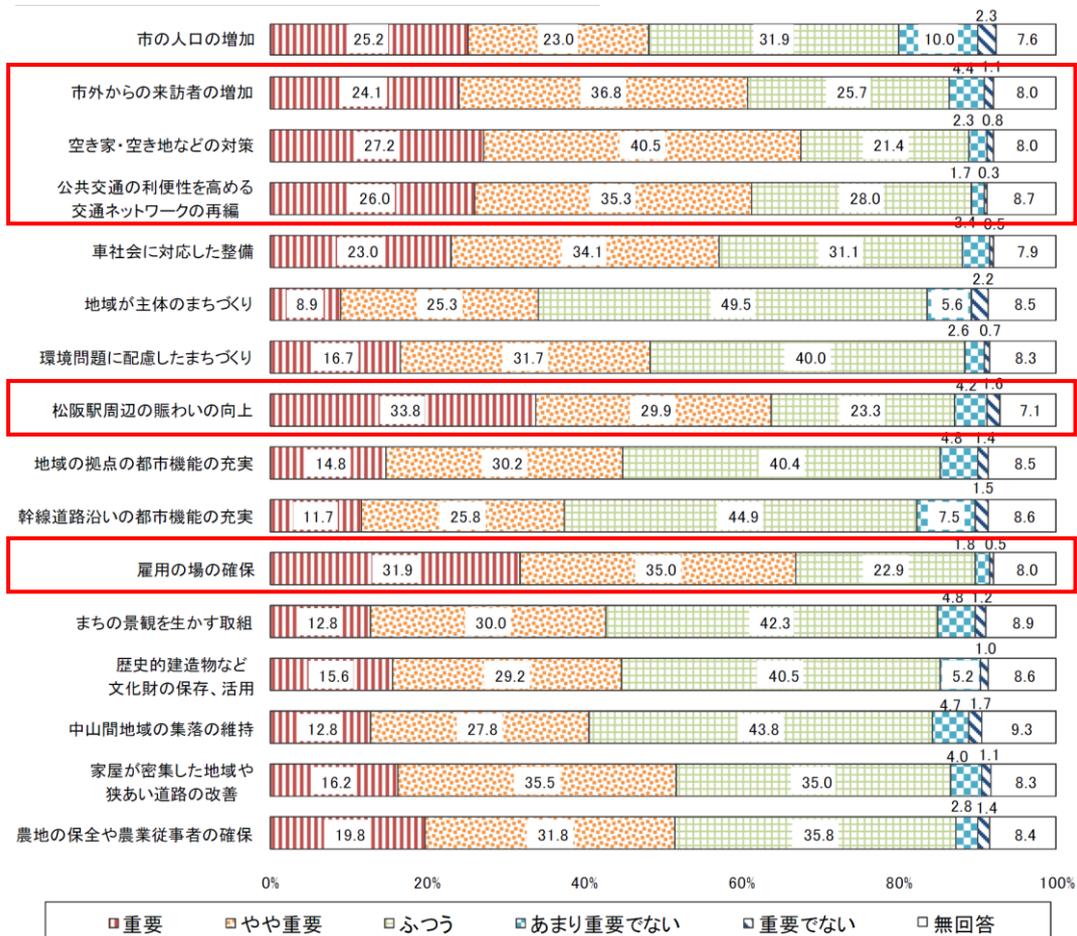


③ まちづくりの重要度について

問：今後 20 年間の松阪市のまちづくりを進めるにあたっての各項目の重要度

まちづくりの重要度（重要+やや重要）は、「空き家・空き地などの対策」、「雇用の場の確保」が特に高く、次いで、「松阪駅周辺における賑わいの向上」、「交通ネットワークの再編」、「来訪者の増加」などが高くなっている。「重要」は「松阪駅周辺の賑わいの向上」、「雇用の場の確保」が特に高い。

項目	重要+ やや重要
① 空き家・空き地などの対策をおこなうこと	67.7%
② 企業誘致や産業振興を進め、雇用の場を確保すること	66.9%
③ 松阪駅周辺の賑わいを向上させること	63.7%
④ 公共交通の利便性を高める交通ネットワークの再編を進めること	61.3%
⑤ 観光などで市外から訪れる人を増やすこと	60.9%
⑥ 道路整備や駐車場整備など車社会に対応した整備をおこなうこと	57.1%
⑦ 家屋が密集した地域や狭あい道路の改善をおこなうこと	51.7%
⑧ 農地の保全や、農業従事者の確保を進めること	51.6%
⑨ 環境問題へ配慮したまちづくりを進めること	48.4%
⑩ 市の人口を増やすこと	48.2%



④ 生活利便施設への徒歩での移動可能な距離について

問：公共施設（市役所など）、商業施設等（スーパー、病院など）への移動について、自宅及び駅、バス停からの距離がどの程度であれば徒歩で移動をしようと思うか。

10分以内の移動距離が以下の施設でも最も高くなっている。このうち、集会所・公共施設が62.7%、医療・福祉施設が56.0%、商業施設が52.8%となっており、集会所・公共施設、医療・福祉施設は身近な生活圏での立地が求められていることがうかがえる。

施設	1位	2位
医療・福祉施設	1分～10分 56.0%	10分～20分 26.2%
商業施設	1分～10分 52.8%	10分～20分 25.8%
集会所・公共施設	1分～10分 62.7%	10分～20分 22.9%

⑤ 鉄道駅周辺等において必要な施設について

問：お住まいの地域の鉄道駅や地域振興局、地区市民センター周辺等に必要な施設は何か。

鉄道駅周辺等に必要な施設は、松阪管内では「商業施設」「災害時の避難所」「医療施設」の順に高くなっている。

嬉野管内では「災害時の避難所」が特に高く、次いで「商業施設」、「公園広場緑地」、「娯楽施設・スポーツ施設」、「医療施設」、三雲管内では「災害時の避難所」が特に高く、次いで「医療施設」、「商業施設」が高くなっている。

(都市計画区域内)

	松阪	嬉野	三雲
回答人数	943 (100.0)	179 (100.0)	101 (100.0)
医療施設	234 (24.8)	43 (24.0)	32 (31.7)
老人ホーム、通所介護などの 高齢者福祉施設	166 (17.6)	38 (21.2)	15 (14.9)
食料品、日用品購入のための 商業施設	269 (28.5)	46 (25.7)	26 (25.7)
公園、広場、緑地	170 (18.0)	46 (25.7)	23 (22.8)
娯楽施設、スポーツ施設	190 (20.1)	46 (25.7)	19 (18.8)
飲食店	150 (15.9)	41 (22.9)	15 (14.9)
幼稚園、保育園、認定こども園	59 (6.3)	24 (13.4)	11 (10.9)
小学校、中学校	41 (4.3)	6 (3.4)	3 (3.0)
災害時の避難所	258 (27.4)	56 (31.3)	42 (41.6)

上段：回答数／下段：(割合)

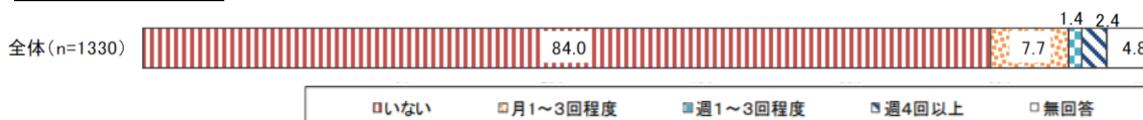
⑥ バスの利用状況と利用しない理由

問：ご家族で、日常生活においてバスを利用される方はおられるか。おられる場合、その利用頻度はどのくらいか。

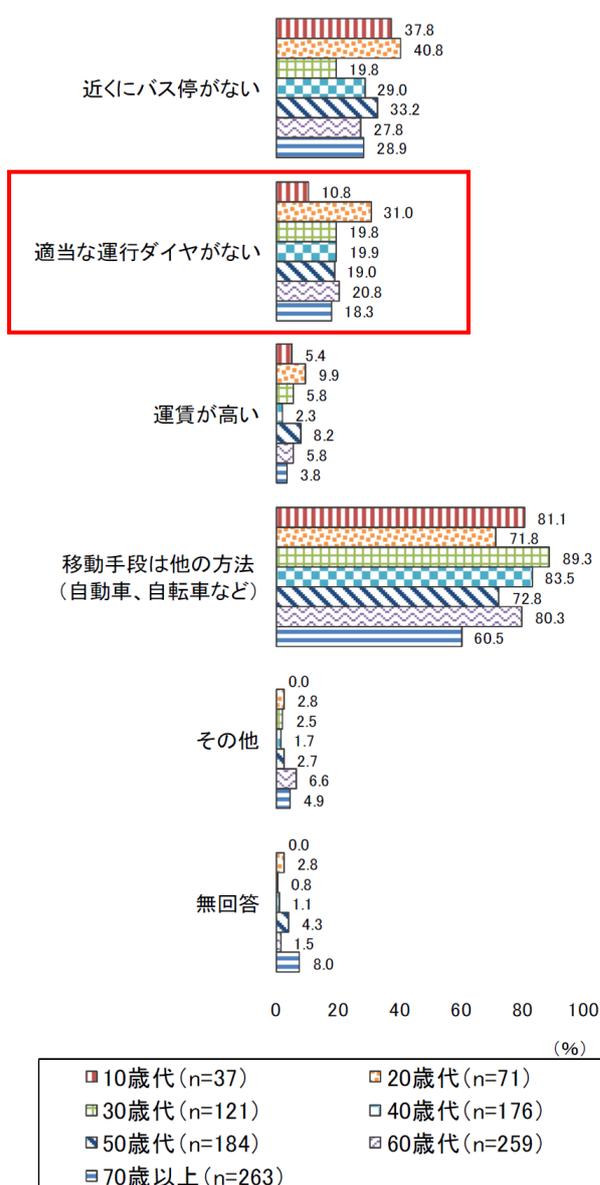
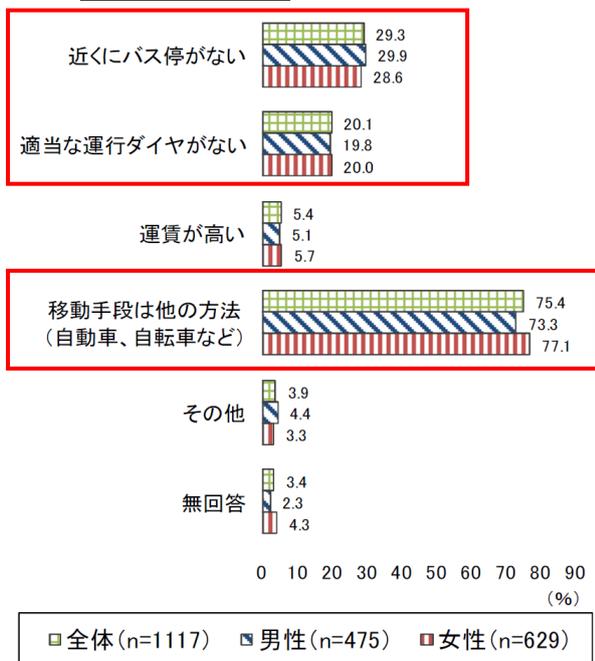
「利用していない」が84%を占めている。「利用していない理由」は、「移動手段は他の方法（自動車、自転車など）」が75.4%と最も高く、次いで「近くにバス停がない」が29.3%、「適当な運行ダイヤがない」が20.1%となっている。

年代別では、20歳代で「適当な運行ダイヤがない」が他の年代よりも10ポイント程度高くなっている。

バスの利用状況



利用しない理由

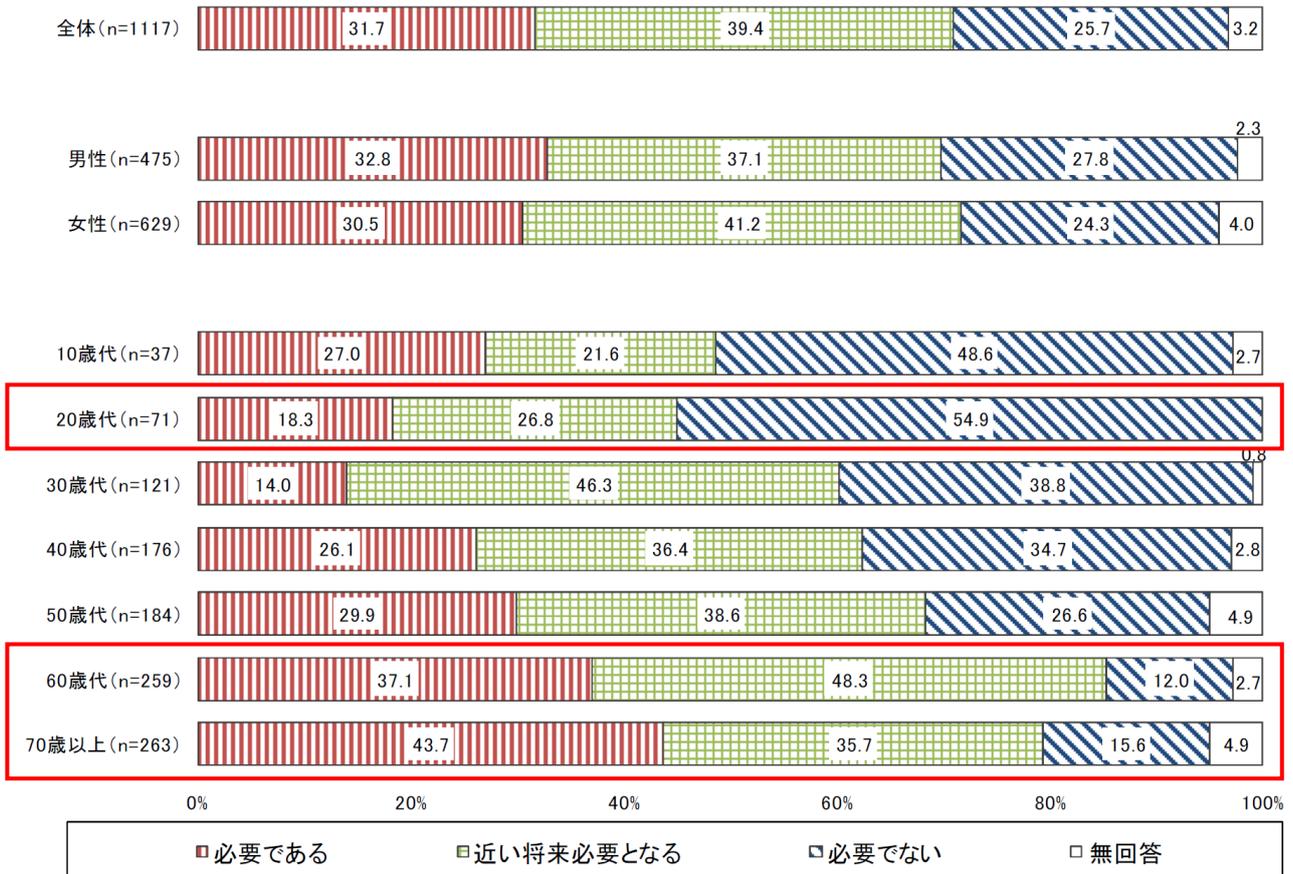


⑦ バスの必要性

問：ご家族にとって、現在あるいは近い将来、バスは必要か。

「近い将来必要となる」が39.4%と最も高く、次いで「必要である」が31.7%と約7割が必要の意向となっている。

年代別には、60歳代、70歳以上の9割近くが必要の意向となっており、逆に、10歳代、20歳代では、「必要でない」が半数程度を占めている。



(2) シンポジウム

～「まとまり」「つながる」まちと公共交通を市民みんなで作るために～

(平成 29 年 12 月 3 日)

シンポジウム内において、『松阪市を住みやすいまちとするには、どういったことが必要か』をテーマに、高校生を含む市民でのグループディスカッションを行った。グループディスカッションでは、「買い物」や「動く（交通）」についての意見が多く、買い物については、松阪駅周辺における商業施設の充実、交通については、バスの充実などの意見が出された。

グループディスカッションの意見

テーマ	場所	必要な施設等
住む	中心部	高齢者住宅
	旧松阪市	高層マンション
	中山間	害獣駆除のための勉強会、話し合う場所
	中山間	動物公園
買い物	商店街	空き店舗対策をもつとする
	主要道路沿道	大規模商業施設
	松阪駅近く	ショッピングセンター
	駅周辺	食品・スーパー
	松阪駅	商業(文化)施設(再開発で)
	松阪駅前	大規模で色々なお店
	松阪駅周辺	買い物ができる施設
	—	飲食店・ショッピングの充実
	—	コンビニ・スーパー
	駅周辺	本屋
	市内	大型 CD ショップを市内に
	—	情報発信の拠点施設
	松阪駅周辺	休憩スペース(喫茶・フリースペース)
	松阪駅前以外	松阪駅前のほかにも商店街(歩いてまわれる)がほしい。国道 42 号、166 号
	東松阪駅周辺	コンビニ・軽食がとれる店舗
	—	移動販売(買い物)
	松阪駅周辺	市の中心地で且つ各交通機関の集積するターミナルに必要な施設
	松阪駅	駅から降りて傘をささずに行けるように施設(を集める)
	松阪駅	駅前広場
	中心部	高齢者が少なくとも生きていける中心街にしたい
	—	年寄りにやさしいまち松阪
	—	高齢者向け住宅+病院+介護施設+買い物ができる商店(シルバーカートを押して行ける所にコンパクト化)
医療・健康	—	医療地区(医者村)
	駅周辺	健康寿命延伸のまち、健康のまち
	老人ホームや学校の近く	診療所
	主要道路沿道	病院は町全体に散らばしておくことも必要
	—	徒歩 15 分以内くらいで内科・歯科など
	—	薬の配達
	—	各地区(自治会等)での健康施設

テーマ	場所	必要な施設等
介護・福祉	人の集まる場所	高齢者の交流できるスペース
	—	複合型施設(新設または既存)
	—	介護、福祉施設
	—	介護施設
	—	介護保険施設
出産・子育て	松阪駅前	子育て支援施設
	—	保育園
	住宅地	保育園
	松阪駅・東松阪駅周辺	出産・病院・子育てが一貫して対応できる施設
	—	官民合築複合型施設
—	進学先をもっと増やしてほしい	
観光・レク	松阪駅	駅前広場
	—	駅施設の充実
	駅前	松阪市の文化を感じさせる取り組み
	—	歴史的観光名所をつなぐ循環バス
	—	歴史的建造物をもっと大事に
	—	交流人口の増加により賑わいをつくる
	—	観光・レク施設
	—	若者受けする施設
	—	滞在型観光
	—	人を集められる場所
	駅周辺	競技場
	—	松阪駅から観光施設までの動線整備
	参宮道などの旧道	判りやすく
産業・雇用	—	持続的に働ける場所
	—	企業誘致
	—	レストラン、解体所、動物園、訓練学校
	郊外	民間企業の工場誘致
	中山間	食品加工施設、地域住民が働ける場所
	—	獣害対策施設
	松阪駅周辺	買い物ができる施設
商店街	空き店舗を活用した市民が楽しめる施設	
動く	健康センターはるる前	鈴の音バスの停留所設置
	—	将来的に幅広い年代の人に利用してもらえるように
	松阪駅より海側	鈴の音バスのルートをもう少し伸ばす
	—	三重交通のバスの本数、バス停を増やしてほしい
	—	市内小・中学生・高校生にバスの存在の認知度向上
	—	公共交通のプライオリティを上げる
	—	公共交通の利用促進
	—	バスのターミナルセンター化
	—	鉄道、バスをうまくつないでより便利に
	—	住民主体の買い物バス
	郊外	コミュニティバス
	東松阪駅周辺	駅から学校へ行くバス
	—	車・自転車・歩行者の分離
	幹線道路	道路交差点の整備
	—	大規模商業施設へのアクセス強化